

きゅうでんガス [M]

(使用契約条件)

2019年10月1日 実施

九州電力株式会社

きゅうでんガス [M]

目 次

1	適 用 範 囲	1
2	料 金	1
3	セット契約割引額	4
4	日 割 計 算	4
5	そ の 他	5
附	則	6
別	表	8

1 適用範囲

この使用契約条件（以下「この契約条件」といいます。）は、次のいずれかに該当する場合で、当社との協議が整った場合に適用いたします。

- (1) お客様が、当社および別表1（当社が指定する事業者）に定める事業者（以下「高圧一括契約マンション事業者」といいます。）の指定するサービスにより電気の供給を受けている場合
- (2) お客様が、当社および高圧一括契約マンション事業者の指定するサービスにより電気の供給を受けており、料金を、高圧一括契約マンション事業者が別に定めるおまとめサービス請求規約による契約にもとづき、高圧一括契約マンション事業者に毎月継続して料金を立替えさせる方法（以下「おまとめサービス」といいます。）により支払われる場合

2 料 金

料金は、(1)および(2)を適用して、1月ごとのガス供給条件（以下「供給条件」といいます。）15（使用量の算定）に定める使用量にもとづき算定された基本料金および従量料金の合計といたします。

なお、従量料金は、基準単位料金または別表2（単位料金の調整）により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金にその1月の使用量を乗じて算定いたします。

(1) 適用区分

料金表の適用区分は、料金の算定期間の使用量に応じ、次のとおりといたします。

使 用 量	適用される料金表
0立方メートルから15立方メートルまでの場合	料金表A
15立方メートルをこえ30立方メートルまでの場合	料金表B
30立方メートルをこえ100立方メートルまでの場合	料金表C
100立方メートルをこえる場合	料金表D

(2) 料 金 表

イ 料 金 表 A

(イ) 基 本 料 金

1月および1契約につき	9 1 3 円 0 0 銭
-------------	---------------

(ロ) 基 準 単 位 料 金

1立方メートルにつき	2 4 6 円 7 6 銭
------------	---------------

(ハ) 調 整 単 位 料 金

(ロ)の基準単位料金をもとに別表2（単位料金の調整）により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

ロ 料 金 表 B

(イ) 基 本 料 金

1月および1契約につき	1, 1 3 3 円 0 0 銭
-------------	------------------

(ロ) 基 準 単 位 料 金

1立方メートルにつき	2 3 2 円 1 0 銭
------------	---------------

(ハ) 調整単位料金

(ロ)の基準単位料金をもとに別表2（単位料金の調整）により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

ハ 料金表 C

(イ) 基本料金

1月および1契約につき	1,562円00銭
-------------	-----------

(ロ) 基準単位料金

1立方メートルにつき	217円80銭
------------	---------

(ハ) 調整単位料金

(ロ)の基準単位料金をもとに別表2（単位料金の調整）により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

ニ 料金表 D

(イ) 基本料金

1月および1契約につき	2,167円00銭
-------------	-----------

(ロ) 基準単位料金

1立方メートルにつき	211円75銭
------------	---------

(ハ) 調整単位料金

(ロ)の基準単位料金をもとに別表2（単位料金の調整）により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

3 セット契約割引額

(1) 各月のセット契約割引額は、その1月の料金表の適用区分および使用量に応じ、次のとおりといたします。お客さまは、各月の料金からセット契約割引額を差し引いた金額を支払っていただきます。

なお、セット契約割引額は、その1月の料金を上回らないものといたします。

イ 料金表 A

使用量	セット契約割引額
0立方メートルから5立方メートルまで	100円00銭
5立方メートルをこえ15立方メートルまで	200円00銭

ロ 料金表 B, 料金表 C または 料金表 D

料金表	セット契約割引額
料金表 B	300円00銭
料金表 C	500円00銭
料金表 D	700円00銭

(2) 次の場合には、(1)のセット契約割引額を適用いたしません。

イ 検針日において、お客さまが、当社および高圧一括契約マンション事業者の指定するサービスによる電気の供給を受けていない場合

ロ 料金の算定期間にガス使用契約の消滅日を含む場合

4 日割計算

供給条件17（日割計算）(1)の適用を受ける場合の料金は、次の日割計算後基本料金と従量料金の合計といたします。

なお、2（料金）(1)の料金表A，料金表B，料金表Cまたは料金表Dの適用区分は，料金の算定期間における使用量に30を乗じ，日割計算対象日数で除した1月換算使用量によります。また，1月換算使用量の単位は，立方メートル単位の整数とし，その端数は，切り捨てます。

(1) 日割計算後基本料金

$$\text{基本料金} \times \frac{\text{日割計算対象日数}}{30}$$

なお，基本料金は，2（料金）(2)の基本料金といたします。

(2) 従量料金

従量料金は，2（料金）(2)を適用し，料金の算定期間における使用量によって算定いたします。

5 そ の 他

- (1) 1（適用範囲）に定めるこの契約条件の適用範囲を満たさないことを当社が確認したときは，この契約条件の適用を解消させていただきます。この場合には，あらかじめその旨をお客さまにお知らせいたします。
- (2) この契約条件に定めのない事項については，ガス供給条件によるものといたします。

1 この需給契約条件の実施期日

この需給契約条件は、2019年10月1日から実施いたします。

2 消費税法の改正にともなう経過措置

社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律（平成28年11月28日法律第85号）第1条の規定により読み替えて適用される消費税法附則（平成24年8月22日法律第68号）第5条第2項の適用を受ける、2019年9月30日以前から需給契約が継続し、2019年10月1日から2019年10月31日までの間に当社が支払いを受ける権利が確定する料金（2019年10月1日以降初めて当社が支払いを受ける権利が確定する日が2019年11月1日以降である料金については、当該確定した料金のうち、消費税法施行令の一部を改正する政令等の一部を改正する政令〔平成28年11月28日政令第358号〕第1条の規定により読み替えて適用される消費税法施行令附則〔平成26年9月30日政令第317号〕第4条第3項で定める部分に限ります。）の算定における料金率については、2（料金）(2)にかかわらず、次のとおりといたします。

区分および単位		料 金 率
		円
料金表 A	基本料金	896.40
	基準単位料金	242.28
料金表 B	基本料金	1,112.40
	基準単位料金	227.88
料金表 C	基本料金	1,533.60
	基準単位料金	213.84
料金表 D	基本料金	2,127.60
	基準単位料金	207.90

別 表

1 当社が指定する事業者

当社が指定する事業者は、次の事業者といたします。

事業者名
株式会社Q T n e t

2 単位料金の調整

当社は、毎月、(1)イによって算定された平均原料価格が85,350円を下回る場合は、2（料金）(2)の基準単位料金から(1)ロ(イ)によって算定された原料費調整単価を差し引き、(1)イによって算定された平均原料価格が85,350円を上回る場合は、2（料金）(2)の基準単位料金に(1)ロ(ロ)によって算定された原料費調整単価を加えて調整単位料金を算定いたします。

(1) 原料費調整単価の算定

イ 平均原料価格

平均原料価格は、貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき、次の算式によって算定された値といたします。

なお、平均原料価格は、10円単位とし、10円未満の端数は、1円の位で四捨五入いたします。

$$\text{平均原料価格} = A \times 0.9423 + B \times 0.0620$$

A = 各平均原料価格算定期間における1トン当たりの平均LNG
価格

B = 各平均原料価格算定期間における1トン当たりの平均LPG
価格

また、各平均原料価格算定期間における1トン当たりの平均LNG

価格および1トン当たりの平均LPG価格の単位は、10円とし、10円未満の端数は、1円の位で四捨五入いたします。

ロ 原料費調整単価

原料費調整単価は、次の算式によって算定された値といたします。

なお、原料費調整単価の単位は、1銭とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。

(イ) 1トン当たりの平均原料価格が85,350円を下回る場合

$$\begin{aligned} \text{原料費調整単価} &= (85,350\text{円} - \text{平均原料価格}) \times \frac{\text{(2)の基準単価}}{100} \\ &\quad \times (1 + \text{消費税率}) \end{aligned}$$

(ロ) 1トン当たりの平均原料価格が85,350円を上回る場合

$$\begin{aligned} \text{原料費調整単価} &= (\text{平均原料価格} - 85,350\text{円}) \times \frac{\text{(2)の基準単価}}{100} \\ &\quad \times (1 + \text{消費税率}) \end{aligned}$$

また、基準原料価格と平均原料価格との差額は、100円単位とし、100円未満の端数は、10円の位で切り捨ていたします。

ハ 原料費調整単価の適用

各平均原料価格算定期間の平均原料価格によって算定された原料費調整単価は、その平均原料価格算定期間に対応する原料費調整単価適用期間に使用されるガスに適用いたします。

なお、各平均原料価格算定期間に対応する原料費調整単価適用期間は、次のとおりといたします。

平均原料価格算定期間	原料費調整単価適用期間
毎年1月1日から3月31日までの期間	その年の6月分の料金の算定期間
毎年2月1日から4月30日までの期間	その年の7月分の料金の算定期間
毎年3月1日から5月31日までの期間	その年の8月分の料金の算定期間
毎年4月1日から6月30日までの期間	その年の9月分の料金の算定期間
毎年5月1日から7月31日までの期間	その年の10月分の料金の算定期間
毎年6月1日から8月31日までの期間	その年の11月分の料金の算定期間
毎年7月1日から9月30日までの期間	その年の12月分の料金の算定期間
毎年8月1日から10月31日までの期間	翌年の1月分の料金の算定期間
毎年9月1日から11月30日までの期間	翌年の2月分の料金の算定期間
毎年10月1日から12月31日までの期間	翌年の3月分の料金の算定期間
毎年11月1日から翌年の1月31日までの期間	翌年の4月分の料金の算定期間
毎年12月1日から翌年の2月28日までの期間（翌年が閏年となる場合は、翌年の2月29日までの期間）	翌年の5月分の料金の算定期間

(2) 基準単価

基準単価は、平均原料価格が100円変動した場合の値とし、次のとおりといたします。

1立方メートルにつき	8銭1厘 (消費税等相当額を含みません。)
------------	--------------------------